

平成28年7月19日

千葉市長 熊谷俊人様

千葉市市民局指定管理者選定評価委員会
会長 横山清亮

指定管理者の行った公の施設の管理に係る評価について（答申）

平成28年4月7日付け28千市総第3号で諮問のありました標記の件について、別紙の稲毛区役所部会からの報告のとおり答申します。



平成28年6月28日

千葉市市民局指定管理者選定評価委員会
会長 横山 清亮 様

千葉市市民局指定管理者選定評価委員会
稲毛区役所部会
部会長 稲垣 總一郎

指定管理者の行った公の施設の管理に係る評価について（報告）

平成28年4月7日付け28千市総第3号で、千葉市長から諮問のあった標記の件について、本部会において審議した結果、下記のとおり議決したので報告します。

記

- 1 指定管理者の行った施設の管理に係る評価（平成27年度分）について
(議決日 平成28年6月22日)
 - (1) 千葉市稲毛区穴川コミュニティセンターについて
 - ア 照明のLED化を継続的に実施しており、光熱費削減の効果も上がっている。施設老朽化に伴う修繕も積極的に行われており、十分な水準で管理運営が行われている。
 - イ 自主事業については、マンネリ化を回避して新たな自主事業に取り組んでいる。新規事業への参加者数もある程度確保されており、工夫して実施されている。
 - ウ 諸室の稼働率については、前年度に比べ、2.3%増加している。また、収支状況も黒字であり、適切な管理運営を達成している。
 - エ 利用対象は誰なのか、利用する人たちはどこから来ているのかなど、利用者のマーケティングや、人口動態・人口構成に係る検討など、大きな視点を持つことで、更なる利用者増を図りたい。
 - オ インターネット予約等に対応が難しいとの意見が見られるので、利用方法のレクチャーなどを、これからも継続されたい。
 - カ 指定管理者の財務状況については、提出された計算書類等の資料に基づいた判断であることを前提とするが、倒産及び撤退等のリスクは少ない。事業継続性も問題ないと思われる。
 - (2) 千葉市稲毛区長沼コミュニティセンターについて
 - ア 新規自主事業を積極的に取り入れ、利用者数・稼働率向上のために努力している。
 - イ 電力調達の入札実施などにより、事務費を削減し収支状況は黒字であり、適切な管理運営が行われている。
 - ウ 起きてしまった事故への対応について、迅速・適切に対応されており、市への報告・連絡もきちんとなされている。これから、さらに高齢化が進展するなかで、事故の発生も増える可能性があるため、引き続き適切な対応を心がけられたい。
 - エ 指定管理者の財務状況については、提出された計算書類等の資料に基づいた判断であることを前提とするが、FunSpace・オーチャーともに、倒産及び撤退等のリスクは少ない。事業継続性も問題ないと思われる。